社説 青木大東亞相に期待

一

一日誕生した大東亞省の初代大臣に國務相青木一男氏が起用されることに決定、同日親任式が執り行はせられた。去る九月十七日南京政府經濟顧問から東條内閣の國務大臣として入閣した當時より、同氏の大東亞相は一般に信ぜられてゐたところであり、事實閣内にあつて大東亞省の創設役をつとめてゐたのであるから、特別に新しい感興が湧くわけではなく又政治的に大した影響がある道理もない。しかし大東亞相としての青木一男氏を新しく見直す時に、我等また二三の感懐なきを得ない。

二

率直にいつて、大東亞共榮圏建設といふ國策中の大國策を運營推進すべき直接の責任者として、聊か青木氏は荷が重過ぎる感がないでもない。しかしこの青木氏の政治的な經歴を繙つて見ればあるものに、その財政經濟に對する蘊蓄と交、問題に對する新しき識見と造詣があり、その人柄の重厚さがある。かゝる意味においては東條内閣の政治力に一つの重さと強さを添へたことになろう。

三

青木氏は大藏省二十年の生活記録をもつ財政人であること はあまりにも有名で、往年、現賀屋藏相、石渡現國府顧問と共に大藏省の三羽烏と謳はれ、共に唇齒輔車の關係を持しつゝ新官僚時代を出現せしめた人であり、近衞内閣の企畫院總裁、阿部内閣の藏相として、その人物手腕とも既に定評のあるところである。かゝる新政治家として府經濟顧問として、昨年以來南京政府の經驗の上に、新生中國經濟制の確立、大陸行政の整備など貴重な體驗を積んでゐる。大東亞相としての適格は、まづ第一にこの點にあるといつてよい。特に又青木氏がこの大役を引受けるに至つた所以のものは青木氏が東條首相の財政經濟の顧問の一人であるといふことが、この緊密なる兩者の紐帶は東條内閣の新しき紐帶が、その政治力を強化するにあらう。

四

大東亞省の使命や性格については既に政府より發表されたとほりであるが、この新しき運營推進について、最も留意すべきは統帥部、外交部との緊密協調といふことである。新しき三角關係は今後建設の偉業が益々具體的に[illegible]

統帥部と策應協力 迅速な運營に萬全期す

青木大東亞相談話

【東京電話】青木新大東亞大臣は親任式終了後宮中を退下、直ちに首相官邸における大東亞省開廳式に臨んだが、これに先立ち左の如き談話を發表、大東亞戰下における大東亞省の使命について述べ、統帥部に策應、協力するとゝもに一元的かつ綜合的機構のもとにもつとも迅速的確なる運營を期し特に皇國と特殊の關係にある滿、華、泰、佛印など共榮圏内の各邦とはますますその提携を緊密強固ならしむるやう努力する旨力強き就任の挨拶を述べた

本日大東亞省の設置に伴ひ不肖測らずも大東亞大臣の重任を拜し恐懼感激の至りに堪へぬ次第である、大東亞省設置の趣旨については夙に政府より發表せられた通りであるが今次の大東亞戰爭は戰爭即建設であり大東亞の建設は戰爭の完遂と一體不離の關係に立つのである、然して[illegible]の建設戰たるやわが建國の本義に淵源し、八紘一宇の大義を遍く大東亞圏内各國および各住民をして各そのところを得せしめ道義に基く新秩序を建設することをもつて目標とするのである

しかしながらこの理想を實現せんがためには當面の戰爭に勝ち拔くため必要な態制を完整することが絶對の要件であり從つて帝國の戰爭遂行力の急速なる増強、擴充をなすは刻下の急務なりと申さねばならぬ、この故に政府においても大東亞建設の企畫および政務の施行に當つてはいよいよ緊密に統帥府に策應協力するとともに一元的かつ綜合的なる機構のもとに迅速的確なる運營を期さねばならないのである

大東 亞省は實にこの緊切なる要請に基づき設置せられたのであつて、私はその使命の極めて大にして責任の極めて重きことを痛感致し粉骨碎身至誠奉公の誠を捧げ任務遂行に邁進する覺悟である、今や大東亞戰爭は御稜威のもと皇軍將兵の善謀力戰により赫々たる戰果をあげ不敗の態制はすでにその基礎を確立せらるゝに至つたのである しかしながらこの戰爭を完遂し大東亞共榮圏を建設することは振古未曾有の大事業であつてこれがためには外盟邦との締盟をますます固くするとゝもに内一億國民の團結を強固にし堅忍不拔の精神をもつて各その職域において全能力を發揮するの必要があるのである

この 見地において私は特に皇國と特殊の關係にある滿洲國、中華民國、泰國、印度支那など共榮圏内の各邦とは條約の定むるところに從ひますますその提携を緊密強固ならしむるやう努力して參りたいと存ずる、これと同時にこれら各邦また今次聖戰の眞義を理解し、この上とも大東亞新秩序建設の理想實現のため一層の協力を與へられるやう切望してやまない次第である

以上の如く大東亞省は官房の外四局廿三課の堂々たる陣容をもつて發足したが、本省の所管事項は大東亞全域に對する經濟、政治、文化、社會の全般に亘つてをり名實ともに一大建設綜合官廳の實態を具備してゐる

建設の實體を具備 大東亞省の機構と陣容

【東京電話】大東亞建設部面の一元綜合的行政を使命として一日設立を見た大東亞省の分課規程および人事は一日附公布實施されたがこれによれば大臣官房に文書、人事、會計、電信の四課をおき他に審議室の制度が設けられた

審議室は『大臣の命を受け審議立案を司る』ことを使命とし勅任官六人よりなる大東亞省參事官が右審議立案の衝に當るもので、これが運用の如何は大東亞行政の綜合官廳としての大東亞省の將來を左右する重要な制度で、同室の事務專掌調査官に田中(海軍)今井(陸軍)兩大佐を据ゑたことは注目される

總務局長には對滿事務局次長竹内俊平氏が任命され總務、經濟、調査、錬成、考査の五課を置いた、官房審議室と緊密に連絡して總務課は重要政策の企畫立案をなすほか情報、宣傳、調査を行ひまた新設される連絡委員會に關する事項を掌るが課長杉原荒太氏は外務省調査一課長から轉じた人で外務省若手中でも將來を嘱望されてゐた新鋭である、經濟課は大東亞省の性格上特に重要視される一課である、すなはち大東亞省は出先各官廳のほか滿鐵、北支開發、中支振興、南方金融その他の重要國策會社をもその所管に編入しこれが綜合調整を掌り大東亞全域にわたる經濟、交通、資金、物資、勞務その他の助興事項を統制する[illegible]ので[illegible]

企畫實行する、大東亞省所管となつた興亞錬成所、興南錬成院に關する事務をも管理する、この外調査課では調査資料の整備、考查課では所管行政一般の考査を行ふ

滿洲事務局は前拓務省拓北局長として又滿洲開發に專念して來た今吉敏雄氏を局長に、總務、殖産、拓務、開拓、青年の五課をおくが、このうち特に注意すべきは關東局は總務課で滿鐵滿電は殖産局で、滿拓は拓務課でいづれも監督し、勤勞奉仕關係は開拓課、青年課でそれぞれ分擔することになつてゐる

支那事務局は同興亞院經濟部長外務省出身の宇佐美珍彦氏を局長に迎へ總務、司政、文化、理財、農林、商工、交通の七課を置き中でも司政課では右外神社、邦人公共團體、學校、邦人警察、兵事裁判などを掌り、文化課は支那側の教育に協力するなど新な活動が期待されてゐる、また北支開發、中支振興兩社の監督には商工課がこれに當る

南方事務局は外務省南洋局長水野伊太郎氏が局長となり政務、管理、文化、理財、產業、交通の七課を設けた、右のうち政務課では泰佛印關係外政および華僑事務を取扱ひ、南方邦人の保護、教育など邦人關係事務は一切管理課がこれに當るほか南拓日南産、海外移住組合などの監督もこの課の任務である、また南方開發金庫の監督は理財課の分擔とされてゐる

米英支會談

【南京卅一日同盟】重慶駐在米軍司令官スチルウエルの印度訪問と宋子文の歸國を機會に重慶側親米派の間に米英軍事合作によるビルマ奪回問題が論議されてゐる模樣であるが某方面へ達した消息によればこのほど擧行されたウエーベル、スチルウエル、ブレエントン(駐印米空軍司令官)羅卓英などによつて開かれたニューデリー會議は印度の防衞とビルマ奪回問題を協議した結果、後者に關しては關係三國の聯合軍組織方針を決定それぞれ報告政府へ具申承認を求めることになつたといはれる、しかして右聯合軍編成の具體的便法として

一、機械化兵團、工兵隊、通信隊などを含む五個師團を新に英米兩國より印度に增派する

二、重慶側は當分印度國境に駐屯する羅卓英軍を聯合軍に參加せしめるほか、西部雲南方面へさらに十個師を增派すること

三、米英高混合空軍六個中隊を新規編成しこれに必要な一切の機材は米國側の供給に仰ぐこと

の三項を決議したが、これが最高指揮官の人選問題に關しては米將[illegible]

總督府機構變遷史 行政運營上に完璧 半島の高度發展狙ふ

一日附を以て總督府の行政機構改革が斷行された、大東亞省設置、これに伴ふ内外地行政連絡の強化といふ大國策の線に沿つて行はれた機構改革であることはもとより小磯總督の統理理念を具現化したもの として重視されるのだ、歷代總督の統治下にあつても行[illegible]の圓滑化を期するために機構改革を斷行したことは[illegible]る、然し小磯總督、田中總監の如く着任直ちに總督府の現行機構の新構想の下に改革を斷行すべく明確なる態度を表明したのはなかつ[illegible]の影響より[illegible]今回の改革は 大東亞省設置の働きかけをより 多く受けてゐると見られ[illegible]構が今回の果して朝鮮總督府の行政運營上完璧の態勢である[illegible]、この機會に明治四十三年十月一日總督府官制を公布[illegible]皇民化と共に兵站基地半島の高度發展を狙つてなされた總督府の[illegible]今日の發展を新にしく考察してみよう

[illegible]總督時代

[illegible]府の組織は官房(武官、秘書課、人事課、會計課)[illegible]、外事局、地方局、學務局、度支部[illegible]工事課、司稅局、司計局)農商工部(庶務課、殖産局、商工局)司法部(庶務課、民事課、刑事課)の官房五部九局から成り、その他所屬官署として中樞院、取調局、各道、學校、警務總監部、裁判所、鐵道局、通信局、專賣局、臨時土地調査局などを置いた、現在の官房、八局、二室、四十五課の近代的行政機構と思ひ合せるならばその素朴性はむしろ微笑ましいではないかともあれその後は韓國政府と統監府との兩官廳を綜合し事務の統一と政費の 節減に努め一方產業の開發のため機關を擴張新設を期して着々機構の 改革整備が なされて行つた、寺内總督時代には明治四十[illegible]

代長谷川總督時代は三年間に各[illegible]

五年四月と大正四年四月の二回に亘り官制改正が行はれてゐる、第一次は總務部を廢し、官房に總務外事、土木の三局を置き、農商工部を改造して農林、殖産の二局とした、所屬官署は取調、專賣、印刷の三局を廢し、また通信局を遞信局と改稱した、第二次は既往三年の實績に鑑み、更に事務の敏捷を圖つて各部長官の下に局長を置くことを廢し、各部長官をして直接各課の事務を指揮せしめ、從來の九局中總務、土木、學務の三局のみを存置して他の六局を廢止、書記官を事務官に改めその定員を減じた、草創期の改正の狙ひは中央官廳を綜合して事務敏捷を圖り、一方產業の助長、地方行政の整備にあつたことが首づける

かくて大正六年

寺内 總督が 總理大臣の印綬をうけるまでの六年間には治安の維持と司法制度改革を目標に、一方では稅制令の發布財政の獨立、土地調査、農林業施設、地方制度の訂正、朝鮮教育令の制定などに費され、第二

齋藤總督時代

第二代齋藤總督時代に入つた制度の確立、金融、財政方面の調整が行はれて大正八年八月の齋藤總督は大正八年八月から昭和二年十二月に至るまで八年有餘(昭和二年四月から同十月までの五ケ月間は現職のまゝ軍縮會議出席のため宇垣一成大將臨時總督となる)の永きに亘つてをり、かの騷擾事件のあとを受けてのことゝて着任早々行政機構の全面に亘つて大改正を加へた、所謂大正八年の大改革であり これを以て第一次大改革とするものである、即ち事務簡捷を目的として本府の組織を内務、度支、農商工、司法の四部を内務、財務、殖産、法務の四局に改め、從來内務部にあつた學務局を

他の四局と 對等とし、獨立官廳たりし警務總監部を廢して警務局とし、官房の總務、土木、鐵道三局をそれぞれ庶務、土木、鐵道の三部としたのである、次いで從來の各道長官の呼稱を知事に改め、また憲兵制度廢止に伴ひ警務總監部及び各道警務部を廢し各道知事に警察權を行使せしめその下に道事務官を以て第三部長となし、現行の警察部長の任務を遂行せしめたその後本部及び地方廳の職員の增加に伴ひ朝鮮人官吏任用の範圍を擴張して大正十年第二次官制改正を斷行した、即ち監察官民情視察事務官、理事官、古蹟調査課などを新設、また各道にあつた第一部、第二部、第三部をそれぞれ内務、財務、警察の各部に改め同年四月專賣局を新設した

次いで大正十三年十二月一月を以て官房に屬した庶務部、土木部、監察官、獄官を廢止、職員の定員を減少し

產米增殖計 劃實施の目的を以て土地改良部を新設、また同年四月一日を以て外局に鐵道局を新設すると共に從來の官房鐵道部を廢した、此ほか八年間に行はれた主たる改正は大正八年十月を以て朝鮮人たる文官の分限及び給與に關する規定を廢止し内地人官吏と同樣官等官俸給令及び[illegible]

任官俸給令の適用を實施、また從來内地人のみを登用してゐた初等學校長に朝鮮人登用の道を拓いた大正十年には朝鮮人中の才幹ある者を廣く採用して本府及地方廳に登用すべく勅令を以て特別任用の範圍を擴張した、以上の如く時勢の進展に伴ひ内鮮人官吏の待遇を全く同一として朝鮮人の人材登用の範圍を擴大すると共に警察、鐵道、通信、專賣、學務の各行政分野を確立し地方廳の整備を一應完了したのである、第四代山梨總督在任中には各種產業の開發、鐵道敷設、朝鮮簡易生命保險の創始

金融制度の 改善などを行つたのみで直接行政機構の改正には觸れてゐない、昭和四年から同六年六月までの第二次齋藤總督時代は第一次時代の治績の完成に努めた

宇垣總督時代

かくて昭和六年六月第六代總督宇垣一成大將を迎へた、着任間もなく滿洲事變が勃發し鮮内では鮮支人の衝突事件があつた、宇垣總督は吏道刷新を力強く叫んで事務能率の增進消費節約更綱を各官公署に通牒、また昭和八年には訓令を以て地方行政事務刷新規定を公布し、地方行政事務整理官を派出して年數回に亘り官紀その他各方面の査閲を行はしめた、このほか官制改正としては昭和七年二月宗教課を社會課に合併して學務局に屬き、同年七月山林部を廢止して

農林局を新 設した、これと同時に土地改良部を廢止、從來殖產局にあつた農務課を農林局に移し、なほ土地改良課、水利課、林政課及び林業課を同局において農林局今日の基礎を築いた、また地方自治制度を完成せしめ最初の道會議員を選擧し地方行政區域を整理し全鮮を十四府二百十八郡二島五十一邑二千三百七十四面とした

南總督時代

第七代南總督は昭和十一年八月より同十七年五月まで七年間の永きに亘つて朝鮮統治に精進したが、在任中外事部、企畫部、厚生局を新設、また外事部を廢するなど所謂第三次大改革が行はれた、即ち昭和十四年

從來官房にあつた外務部を獨立して外事部となし、外務、拓務兩課を設置した、また同じく官房にあつた資源課を獨立して企畫部とし第一、第二、第三、第四の四課を置き

國家總動員 計畫の設定及び遂行に關する綜合事務並に物資の配給事務を掌らしめた、昭和十三年には殖產局に產金課燃料課を、同十五年には物資調整課を設置した、農林局部面では十三年八月商產課を、十五年二月には從來の米穀課の二つに分けた、法務局では法務課を廢して糧政課、食糧調查課及び行刑課を、同十七年には保護課を新設した、警務局には十四年防護課を、十五年二月に經濟警察課を設置した、學務局では十四年七月その所屬の觀測所を獨立せしめて氣象台と改稱した、鐵道局では十三年工務課を分割して保線、改良の兩課に分立し十六年四月内務局を司政局と改稱、同十月には外事部を廢し外務、拓務兩課は司政局に

また

厚生局を新 設して社會、勞務、衞生、保健の四課を置いた、この間時勢は支那事變から大東亞戰へと推移、社會情勢も急角度に變貌していつた、この爲各局内にあつては行政事務の處理捷密のため各事務を分科的に行つた關係上數課を增設して時代情勢に對處して今日に至つたものである

かくみれば齋藤總督の大正八年の大改革を以て第一次機構改革とすべく宇垣時代を第二次、南時代を第三次として第八代小磯總督下最初の機構改革は朝鮮統治史に卅二[illegible]

隨想錄

總督府の機構改革の中で最も注目されるのは總務局に監察課の設置されたことである、その任務として本紙が解説して居る處によれば▲行政運營の實情、民情動向に關する事項等の視察に關する事項とのことで官紀振肅を保證することに主眼があると思はれる▲これは個人の非を暴きたてたり徒に事務の缺陷を指摘しようとするものではないといふ▲さもあるべきだが總督監の言ふ統理の方針が行政の末端に如何に浸透し民衆に如何に反映してゐるかを査察するとなれば各方面に相當の緊張を與へることは豫見し得られる▲監察制度は現に支那では監察院を置いて居り日本でも實行した先例があるがどういふものか永續しない、表面の理由は別として官吏は心理的にこの制度を好まない傾向があつたのではなからうか▲然し戰時下における行政官の職責は極めて重大でそれだけ自粛自戒以て上意を誤ることなきを期せねばならぬが之が爲には公正なる第三者の誠意の批判を傾聽するの雅量を持つ要がある▲その公正なる第三者が民間の者である時には種々の弊害を生じ却て事務を紛糾させる恐れもあるから制度として監察官がこれに任ずることになればその間が円滑に行くであらう▲さういふ意味において本制度が新しく取り上げられたことは朝鮮統治に對する一般の信賴感を深める上に極めて好影響を齎すことゝ信ずるが▲『文武の政は布いて方策に在りその人亡すれば則ちその政擧りその人亡すればその政息む、夫れ政は蒲盧なり故に政を爲すは人に在り』云々と孔子も言つてゐる如く監察官に人材を得ることが緊要の問題である。

化學工業(總會) 創立

【東京電話】化學工業統制會の創立總會は、三十日午前十時より帝國ホテルに開催、鈴木設立委員長の設立計畫の報告あつて定款、創立費およびその償却方法ならびに初年度收支豫算およびその賦課金徵收方法を可決、次で會長に石川一郎氏を任命、會長より理事十一名、監事五名、評議員四十四名を任命、直ちに認可があり、午前十一時半散會したが、理事長は創立後銓衡の豫定である 理事の氏名左の通り

▲理事種田龍(硫安組合專務理事)▲磯部房信(東洋高壓常務)▲近藤晋(保土谷化學常務)▲横田小人大(電解曹達組合理事長以理)▲久我貞三郎(日本タール製品專務理事)▲吉川貢(日本窒素東京營業部長)▲生野稔(旭硝子取締役)▲島野亨二(日本理科工業取締役)▲織田研一(日產化學富山工場長(內定)▲稲見謹一(商工省化學局合成課長)

統帥部に策應協力するといひ、また大東亞圏内の各邦との提携促進を外交部と共に努力する旨を強調してゐるが、まことにさもあるべきことであり、我々はこの機會に、大東亞省、統帥部外交部、三位一體の國策推進を新大臣に希望し度い、青木新大臣の健在を祈るや切なる所以は實にこゝにある。

五

新田の[illegible]の中でいよく[illegible]

獨潜艦 通商破壞戰果

【ベルリン卅一日同盟】卅日のドイツ政府筋情報は獨潜水艦は大西洋における通商破壞戰において十月一日から卅日までの期間に聯合國商船五十萬四千九百二十五トンを擊沈したと報じたが卅一日の情報によりさらに大西洋において十六萬五千トンを擊沈したことが判明した、この結果右期間における獨潜水艦の戰果は合計六十七萬九千九百廿五トンとなつた

で何れも官制および定員、給與令が改正されることゝなつた

二名、傭人九名各減、機構は四部十六課制を三部十四課制とし一部二課が廢止される

行政裁判所、評定官四名、判任官一名、雇員一名、傭人五名各減

日本精工のい號起債條件

【東京電話】三井銀行では卅日日本精工第三回物上擔保附い號起債一千五百萬円の條件を發表したが、うち親引二百萬円、產組中金の買入百萬円、殘額一千二百萬円を公募する、條件は四分三厘、十年、拂込來月廿五日である

戰時下簡素強力化 清新な各省人事異動

【東京電話】行政簡素化、大東亞省設置、内外地行政連絡強化に關する件ならびに官吏待遇に關する件は一日附官報をもつて一齊に公布、即日實施され、これによつて大東亞省をはじめ各省において廿一局一部が新設され、拓務省をはじめとする一院、廿八局、十三部が廢止され、他に外局より内局となつたものが一廳、三局となり内外地全體として官吏十七萬三千餘名が減少されたが、機構の改正に引續き内閣をはじめとし各省人事が一日一齊に發令され、こゝに戰時下簡素強力化された各省組織は清新の氣をもつて人事異動により活潑なる活動を開始することとなつた、各省人事内容左の如し

商工省

任金屬局長(二) 鑛産局長	津田 廣
任交易局長(二) 貿易局第一部長	山口 喬
鐵鋼局長	酒井 喜四
燃料局第一部長	畠中 大輔
依願免本官(各通)	

農林省

任食糧管理局事務官 周政局事務官	崎田 義雄
行政簡素化臨時職員令第四條により馬政局總務部長の職務に從事することを命ず	
食糧管理局事務官	水川 濟
行政簡素化臨時職員令第四條により食糧管理局第二部長の職務に從事することを命ず	

文部省

任文部省總務局長(一) 教學局長官	藤野 惠
文部省專門學務局長	永井 浩
任文部省專門教育局長(二) 文部省普通學務局長	關口 鯉三
任文部省國民教育局長(一) 教學局部長	近藤 壽治
任文部省教學局長(二) 文部省社會教育局長	生悅住求馬
任文部省宗教局長(二) 文部省宗教局長	阿原 謙藏
任文部省教化局長(一) 教學局部長	堀池 英一
行政簡素化臨時職員令第四條により總務局の職務に從事することを命ず	

大藏省

企畫院書記官兼大藏書記官	
任大藏省總務局長(二)	迫水 久常
命總務局文書課長事務取扱を命ず 專賣部長	濱田 幸雄
任營繕管財局長官(二) 國民貯蓄獎勵局次長	氏家 武
任國民貯蓄局長官(二) 企畫院部長	松田 令輔
任資金局長(二) 大藏省會社部長	田中 豐
任理財局長(二) 大藏省爲替局長	原口 武夫
任外資局長(一) 預金部長官	木内 四郎
任專賣局長官(一) 預金部理事	武村 義雄
任財務局長(二) 銀行檢查官 大藏書記官	濱田 德海
補東京財務局長	
任專賣局理事(二) 專賣局鹽腦部長	
補專賣局理事	
任專賣局理事(二) 大藏書記官	內川 春景
補水戸地方專賣局長	
任專賣局理事(二) 興亞院調查官兼大藏書記官	新 敏雄
補名古屋地方專賣局長 名古屋地方專賣局長	友岡 武年
補大阪地方專賣局長	
任營繕技監(二) 營繕管財局技師	小島 榮吉
免理財局長事務取扱 大藏次官	谷口 恒二
專賣局長官	山田 鐵之助
東京財務局長	栗原 修
鹿兒島專賣局長	上林 一枝
大阪專賣局長	鈴木 肇
依願免本官(各通) 專賣局書記官	藤原 武
免水戸地方專賣局長心得 主稅局長	松隈 秀雄
免主稅局關稅課長事務取扱 專賣局書記官	石岡 逸郎
免鹿兒島地方專賣局長心得	

鐵道省

補鐵道省總務局長 鐵道省經理局長、鐵道監	平山 孝
補要員局長 需品局長	同 齋藤 義人
補監理局長 監督局長	同 佐藤 榮作
補運輸局長 運轉局長	同 堀木 鎌三
補業務局長 建設局長	同 小林 榮朗
補施設局長 工作局長	同 向笠 金吾
補資材局長 建設局線路課長	同 宮本 保
補國際觀光局長 仙臺鐵道局長	同 高田 寬
補鐵道省電氣局長 電氣局長	同 依住 朝治
監督局技術課長	同 瀧 淵實烈
鐵道省工務局長	同 三浦 義男
鐵道調査部長	同 近藤 順二
仙臺鐵道局長	同 西尾 壽男
命大臣官房勤務	

厚生省

任勤勞局長(一) 勞働局長	持永 義夫
保險院社會保險局長	平井 章任
保險局長(二) 厚生書記官	小林 尋次
兼任勞務官(二) 命勤勞局勤務 豫防局長	勝俣 稔
任厚生技監(二) 命大臣官房 厚生技師兼厚生科學研究所技師	古屋 芳雄
任厚生省研究所技師(二) 命厚生科學部長 衞生試驗所技師	安香 愛二
兼任厚生省研究所技師(二) 厚生省研究所研究官	岡崎 文規
命人口民族部長 厚生省研究所技師	杉本 好一
命國民營養部長 同	野邊地慶三
命養成訓練部長 保險院簡易保險局長	前田 ■
依願免本官 厚生科學研究所技師兼厚生科學研究所教授	林 春雄
依願免本官並兼官 厚生省研究所技師	竹田 晴爾
命產業安全部長	

外務省

任外務次官(一) 條約局長	松本 俊一
任政務局長(二) 大使館參事官	上村 伸一
任條約局長(二) 歐亞局長	安東 義良
任外務省調查局長(二) 大使館一等書記官	山田芳太郎
任外務省通商局長(二) 總領事兼大使館一等書記官	澁澤 信一
任調查官(二) 大使館參事官	井口 貞夫
大使館一等書記官	奧村 勝藏
同 總領事	久保田貫一郎
任外務省書記官(三) 大使館二等書記官	井上孝治郎
任外務書記官(四) 外務書記官	松井 明
命大臣官房人事課長	成田勝四郎
同	工藤 忠夫
命官房電信課長 同	門脇 季光
命政務局第一課長 同	奧村 勝藏
命同第二課長 同	久保田貫一郎
命同第三課長 同	與謝野 秀
命同第四課長 同	太田 三郎
命同第五課長 同	加瀬 俊一
命同第六課長 同	大野 勝巳
命同第七課長 同	朝海浩一郎
命通商局第一課長 同	吉岡 範武
命同第二課長 同	井上孝治郎
命調查局第一課長 同	尾形 昭二
命同第二課長	松井 明
命同第三課長 外務事務官	小川清四郎
命同第四課長心得	

遞信省

任總務局長(二) 經理局長	小林 武治
任電氣局長(一) 電氣廳長官	鹽原時三郎
任電氣技監(一) 電氣廳第二部長	林 秀
同 第一部長	田倉 八郎
任簡易保險局長(一) 海務院次長	安田 大助
兼任海務院部長(一) 海務院運航部長	岡本 忠雄
任遞信局長(二)	
補東京遞信局長	
依願免本官 管理局長	景山 準吉

大局樂觀買煽まず
堅實重點株選擇絶對
通貨の膨脹は戰前の三倍
半株式の增加は八割程度
優秀株不足示現必然

京城府明治町二
秋田證券
電話代表②一五一五五

大東亞共榮

年間における第四次の大改革となるわけである、ともあれ滿洲事變以來驚異的發展を示した朝鮮は支那事變の進展と共に大陸兵站基地として早くから國の强力なる一環としての性格を持ち來つたものといへる、小磯總督はこの兵站基地半島の持つ豐富なる資源を縱横に開發すると共にこれを廣く共榮圏内に供給すべく、また銃後半島の發展維持を期して今回の機構改革を斷行したものとみてよからう

日本產業經濟創立式擧行

【東京電話】國防經濟の確立、生産力の擴充に寄與目的をもつてけふ一日より『日本產業經濟』を創刊することゝなつた、株式會社日本產業經濟新聞社の創立式は卅一日午前十時から中外商業新報社屋三階において合同三社の中外商業新報社、日刊工業新聞社、經濟時事新報社々員出席して擧行、村上新社長、時原副社長の挨拶があつてのち喜多創立責任者の發聲で聖壽萬歲、日本產業經濟新聞社萬歳を三唱、社員一同大東亞戰下產業總動員の尖兵として經濟報國の新使命遂行に邁進することを誓つて散式

明治神宮 國民錬成大會 第四日

聖恩旗の下最高潮

半島軍 感激のこの日

【東京にて大山特派員發】第十三回明治神宮國民錬成大會は一日第四日を迎へて大會後半戰の華々しい火花、畏くも高松宮同妃兩殿下には御揃ひで外苑競技場に台臨遊ばされ、折から開かれてゐた陸上競技と我海軍の輝かしき戰果の感激をこゝに再現して鍛成する海の勇士土浦海軍航空隊の集團體操を御興深く台覽遊ばされ、三笠宮同妃兩殿下には茨城縣石岡町の滑空訓練場に御成り、空に鍛へる若人を御激勵遊ばされた

輝くこの大會第四日にあつて半島部隊はその意氣天を衝かんばかりの快調、先づ大會鍛成の華である耐久競技に木本在天君(咸南利原)が全國卅六名の精鋭を尻目に歷史的な第一着のテープを切つてマラソン半島の名を外苑の聖域に擧げた、これに呼應して戰場運動に釜山商業青年訓練所が青年學校對抗行軍競爭に堂々と二位をかち得て氣を吐く、一方我鮮鐵の活躍も愈よ物凄く、蹴球ラグビー準決勝に日本內燃(東京代表)を破つてけふ二日の輝く天覽特別演錬に出場の光榮に浴する

更に鮮鐵の一般男子排球は準決勝に入り蹴球一般代表の平壤平友團も準決勝に函館を七—〇で大破、決勝で茨城代表日立と最後の覇を競ふこととなつた、籠球一般男子は準決勝で滿洲を廿七—廿五で屠り、堂々今日の決勝に駒を進めた騎道の半島代表は內外地對抗に四位を獲得、漕艇では遞信が一般固定席で入選したが排球中等代表京城師範は準決勝で神戸一中に敗れ、籠球の中等男子(平壤光成中)は準決勝で、又劍道一般府縣の對抗個人は堀切選手(京畿道警察部)惜くも二回戰に敗れた、なほ決勝に殘つた柔道一般代表は滿洲と又劍道中等代表は熊本と三日覇を唱へる優勝戰を交へる

かくして大會第五日けふ二日は天皇、皇后兩陛下を競技場に仰ぎ奉り唯だ感泣、決戰下健民鍛成の意氣は火と燃えるのである

躍進！飛越せ！突撃だ！＝中等戰場運動（戸山學校にて）電送

永遠の女（6）

牧洋 作
岩本正二 繪

女の間（二）

『ようこそ、こんな有様で驛へ迎へにも行けませんで……』

リエは弱々しく言つた。

『いいえ、どう致しまして。お義姉様、隨分おやつれなすつて、どこかおわるいんぢやございませんの』

『え、別にどこが惡いつてこともないんですけど、神經の方が弱くなつて……。さあ、お部屋へどうぞ。こんな田舍でして、どうも……』

『ユリちやん、こつちへ上りなさい。お茶を出すから』

障子をあけ放した茶の間から、農夫雄が大きく言つた。小百合はリエの後について行つた。

『ユリちやんなんて可笑しくないこと？小百合さんはもうおとなですもの』

リエが言つた。

『おとなには違ひないが、ちやんの方が親しみがあつていゝぢやないか。ユリさんなんて、さんづけはどうもよそよそしいよ。ねえ、ユリちやん』

農夫雄は笑ひながら言つた。

『そんなこと、どうでもいいわ。それよりか、ここは靜かでいいところね』

小百合はちよつと見廻す風にしながら、部屋に上つて農夫雄と對坐した。農夫雄はあらためて、兩手をつき、

『よく來てくれました。はるばる東京から』

と言ひながらペコツと頭を下げた。小百合はあわててお辭儀を返しながら、

『何卒よろしくお願ひ致します』

と言ひ、正坐して、

『お姉様、大分やつれてらつしやるから、だいじにしなくちやいけませんわ』

『一種の神經病でね。時々ヒステリーを起すんだが、これにはいい藥がないらしいんだ。まあ、それはそれとして羽織を脱いだらどう』

『えゝ。そりや、伯母様、外出なすつたんですの？』

『いや、裏の方で家畜の世話でもしてるんだろ。女はそれが趣味でね』

『もう隨分おふけなすつたでせうね』

『いや、仲々元氣だよ。まだ女房の二倍も三倍もはたらくから』

そこへ、リエがおやつと、茶の道具を持つて現はれた。

『お待遠さま』

リエはさういつてから、お茶碗を出した。

『ユリちやんから今、お前が病氣さうだから、うんとだいじにしてやれつて叱られたぜ』

『あら、義兄さん』

『さうですの？小百合さん、人思ひね』

『都會の女はうはつぺらで薄情だといふが、ユリちやんは仲々人情家ぢやないか。はは、……』

『都會の人だからこそ、こまかい所に氣がつくのですわ。ホホホ……』

『さうね、こんな田舍にゐると、人間はぐうたらになりますのよ』

『あら、濟みません。お義姉様』

一瞬、しらけた沈默が起つたが、リエは話題を轉じて、

『その銘仙、由も落着いた、しぶい柄ね。こちらでは隨分けばけばしいのが流行つてますのよ』

と、女らしく着物のことをいひ出した。

『さういへば、京城でちよつと感じましたわ。みんなお化粧もいやに濃厚だし、着物の柄もまぶしい程大膽な色合ですわねえ』

『この頃の女達は隨分派手になつて來たよ』

農夫雄も默つてゐなかつた。そこへ農夫雄の老母が白い雌兎を一匹胸に抱いて、庭から部屋をのぞいた。

『まあ、ようこそ。東京のお客様……』

戰ひのあと

陸上競技

◇男子中等手榴彈投 1石井藤吉郎(茨城)六八米五〇、2都築(高知)3金村(島根)

◇一般耐久競技(マラソン) 1木本在天(朝鮮)二時間三一分八秒、2河田(秋田)3金谷(滿洲)

◇男子走幅跳決勝 1金山源權(東京)七米〇四2岡本(滿洲)3出島(北海道)

◇女子百米決勝 1吉野トヨ(山梨)一三秒四2古川(佐賀)3金井(群馬)

◇男子中等走高跳決勝1辻井幸男(奈良)一米七〇2齊柳(山形)3近藤(岡山)高梨(靜岡)

自轉車

◇五百米決勝 1朴炳喜(朝鮮)四四秒二2近藤(德島)3毛利(東京)

◇五千米速度決勝 1天野勝(大阪)八分四秒三2關戸(神奈川)3大西(北海道)

◇一萬米速度決勝 1早川清一(東京)一七分一五秒四2板垣(山口)2阿部(北海道)

騎道

◇軍隊馬術(將校班)1前田光男(輜重校)2佐藤(豫科士)3津田(陸士)

◇准士官下士官 1三浦七郎(騎兵校)2片岡(陸士)3野田(陸士)

◇古式騎射 1守屋毅(細川流弓馬)2小笠原(大日本弓馬會)3村山(細川流弓馬會)

◇打毬競技決勝

　勝　負

　馬事公團四隊　會日本馬事會打毬部

◇同道府縣對抗決勝 1神奈川2東京3青森

◇白馬大障碍飛越 1山田勝永(豐國乘馬)2大崎(京大)3不破(慶應)

◇學生障碍飛越 1伊藤房雄(法政大)2柿田(大阪商大)3二宮(關學大)

◇內外地對抗 1關東州五九〇點2臺灣五七八點3滿洲四九八點

戰場運動

◇中等學校府縣對抗綜合成績 1靜岡二七三點2樺太二七二點3朝鮮二六四點

◇青年學校府縣對抗綜合成績 1在滿教務部二六八點2熊本二五九點3北海道二五八點

拉式蹴球

◇中等學校決勝 天王寺中學(大阪)16(11—0 5—0)臺北工業(臺灣)

相撲

◇青少年團決勝 青森2—1大阪

射擊

＝半島軍敢闘＝

◇一般三百米團體1大連綠山九二點2京都振興第二班3成器商業

◇同個人1上野祐資(同志社大)七八點2本間(明大)3小出(山形高校)

◇大學高專綜合 1明大六八點五2法大、3興亞專門

◇憲兵拳銃個人 1山縣守曹長四〇點、2井上軍曹、3藤川曹長

◇陸上 一般男子八百米繼走豫選に朝鮮二等

◇同百米準決勝通過者(朝鮮金海)

◇排球 一般男子四回戰朝鮮2—1京都

◇柔道 中等學校府縣對抗二回戰朝鮮2—1和歌山

○深堀(合投)原

　津浦(大外刈)塚原○

○龜山(足拂)辻原

◇籠球一般男子準決勝 全京城31—25全滿洲

◇同男子中等準決勝 光成中(朝鮮)62—32西野田(大阪)

◇陸上一般女子短棒投豫選通過者(朝鮮)馬場

ラジオ　二日

朝 七・〇〇 1大東亞戰爭と明治の精神(二)津久井龍雄 2詩吟(錄音)▲七・三〇音樂(音盤)▲八・〇〇(城)今日のお知らせ▲八・二〇同(鮮語)

晝 〇・三〇(城)箏と管絃樂〃越天樂奏曲〃(音盤)近衞秀麿編曲▲〇・四五初步國語講座▲二・三〇(城)1朗讀『姉の願ひ』(鮮語)白野牧子 2音樂(音盤)▲三・三〇明治神宮大會野球實況—神宮外苑より中繼—▲四・三〇(城)國史譚『名將上杉謙信』宮本北阿峴國民學校長

夜 六・〇〇 1シンプン 2明治に輝く人々(二)廣田喬作▲六・三〇ヴアイオリン獨奏(音盤)無伴奏奏鳴曲第一番ト短長▲七・五〇ベルリンよりドイツ通信▲八・〇〇(城)1伽倻琴散調と併唱(鮮語)沈相健ほか 2歌謠曲(音盤)▲一〇・〇〇(城)戰時國民讀本(鮮語)

商業及法人登記公告

[illegible]